

事業実績報告書

1. 事業の背景と目的

(1) 現状と課題（前年度実績を含む）

本校が位置する長崎市伊良林地区には、長崎の歴史・文化に係わる貴重な史跡が数多くある。「亀山社中」や「竹ノ芸」で有名な「若宮稲荷神社」、現在では継承者がいなくなった「亀山焼の窯跡」、さらに長崎の伝統行事「凧（ハタ）揚げ」が行われている風頭山などである。しかしながら、身近にあるこうした郷土の歴史や文化に、触れることなく卒業する生徒が少なくなかった。

そこで、平成21年度に始まった「私学魅力アップ事業」を契機に、「長崎学」をテーマとして身近にある素晴らしい環境の中で歴史に触れ文化を学ぶことで、郷土愛を育むことを目指した。生徒と教職員が一体となって歴史や文化を学び、創作活動を実践することで、互いのコミュニケーションもより深められた。

また、各学年1回、年間3回行ってきた地域周辺の清掃活動や文化部による地域イベントへの参加など地域住民との交流活動を推進してきた。それらを通して、地域に貢献できる「開かれた学校づくり」を進めることができた。

本校の「長崎学」をテーマにした取組は、郷土を知ることによる郷土愛の醸成においても一定の成果を上げ、当初の目的を概ね達成することができたと考えている。

しかし、次のような課題があり、年度ごとに改善を図っているが、今後工夫が必要である。

- (i) 「長崎学」の検定受検率はほぼ99%であるが合格率が低いこと。
- (ii) 「凧（ハタ）」について制作と揚げ方の技術が足りないこと。
- (iii) 「亀山焼」の体験を多くの生徒に広げ、「亀山焼」の認知度を上げること。

「平成25年度 輝く私学支援事業」では、従来の取組を継続し充実させるとともに、課題解決に向けて、より一層の工夫・改善に取り組まなければならない。

(2) 事業の目的

本事業の目的を以下のように設定する。

身近にある素晴らしい環境の中で歴史に触れ文化を学ぶことで、郷土を愛する有為な人材を育成する。また、生徒と教職員が一体となって歴史や文化を学び、創作活動を実践することで、互いのコミュニケーションを深める。

各事業項目については目的を以下のように設定する。

- 1 長崎学講座
学校周辺の歴史・文化に触れ、郷土の歴史・文化の素晴らしさ、大切さを学ぶことで郷土愛の醸成を図り、長崎の素晴らしさを情報発信できる能力の育成する。
- 2 凧（ハタ）のデザイン・制作
長崎の伝統工芸品「凧（ハタ）」のデザイン・制作を体験することで、伝統の奥深さ、ものづくりの楽しさを実感させる。
- 3 亀山焼の学習と習得
継承者のいない亀山焼を学び、亀山焼の創作を体験することで、文化を守る大切さを理解させると共に伝統の奥深さ、ものづくりの楽しさを実感させる。
- 4 凧（ハタ）の研究
JAXAとの連携を通して、凧（ハタ）の飛行原理や設計（形状・大きさ等）を科学的に探求し、より高く揚がる理想的な凧の制作を目指す。